

# 日本を支える

## KANSAIモノづくり企業

132

大東化成は卵焼き専用フライパンから金型まで、多種多様な金属製品の表面処理を手がけている。主力はフッ素樹脂コーティングで、内径1ミリの以下に金属パイプ内面への加工も可能。2005年に技術を確立し、現在は内径1ミリのパイプで厚さ0.1ミリの以上、内径0.5ミリのパイプで厚さ0.02ミリの1

## 大東化成

同社の始まりは02年。大山一彦社長が25歳の若さで創業し、着々と実績を積み重ねてきた。前職で表面処理のノウハウを身につけていた大山社長

だが、「当初はお客さんがいない状態からのスタート。営業しようにも話さえ聞いてくれないのが当たり前だった」と振り返る。そこで開発に力を注ぎ、05年の新技術実用化につなげた。

このころから仕事が増え始め、09年に法人化。同年に第2工場、11年1月に第3工場を稼働と順調に事業を拡大してい



フッ素樹脂コーティングした搬送スクリュー

年には近畿経済産業局の「2010KANSAIモノ作り元気企業100社」に選ばれている。

さらなる成長のため、11年4月にはコーティング材料の開発要員として初めて大学新卒を採用した。他メーカーの材料は耐摩耗性や耐衝撃性、非粘性などのバランスがとれている反面、一部の機能のみを強化した材料

同社は14年11月期に現状比2倍以上の2億5000万円の売り上げ目標を掲げている。創業以来、リーマン・ショックなど経済環境の変化を乗り越え、順調に売り上げを伸ばし、さらなる成長への布石を打ち続ける同社なら十分達成可能な数字と言える。今後同社の快走はしばらく続きそうだ。

# 極細管内面にフッ素成膜

約120社の新規顧客を獲得。年間では10年比1.4倍の140社に達する見込みという。同社を象徴する技術と

なった極細管内面へのコーティングについて大山社長は、「どこにもない技術を顧客に提供したい」という強い思いが実った」と分析する。この技術二

は少ないという。顧客の要望にきめ細かく応えるには、独自の材料開発が不可欠と判断した。ほか

▽社長 大山一彦氏▽所在地 堺市美原区北余部501の3、072・369・7851▽製品 フッ素樹脂コーティングを中心とする表面処理加工▽URL www.dai-fochemical.jp (火曜日掲載)

西日本